



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課
H27.10.16

紀の川大堰の「水ときらめき紀の川館」に雑賀赤十字奉仕団塩屋分団の方々が見学に来られ、当事務所からは流水調整課が対応しました。

昭和時代の台風の被害など、昔話に花が咲きました。浸水被害にあわれた経験から熱心に説明を聞いていただき、皆さまから、紀の川大堰の必要性や役割について、十分理解できたと喜んでいただきました。

また、魚道では秋晴れの空のもと紀の川の気持ちのいい風を感じながら、笑顔の時間を過ごしていただきました。

団体見学概要

日時：平成27年10月15日(木)
10:00～11:20

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：22名(引率の方1名含む)

団体名：雑賀赤十字奉仕団塩屋分団様

1. 紀の川大堰概要説明

紀の川の概要、紀の川大堰の目的についてスライドを用いて説明

紀の川の形や歴史などの質問がありました



2. 館内展示物の見学

紀の川の歴史やこれまでの水害の様子などをパネルで確認。

思い出されることも多かったご様子です。

入口付近に展示してある重さ推定40トンの流木の一部を見ながら、このクスノキが生まれてから紀の川のこの場所にくるまでの1600年あまりの歴史に驚きながら思いを馳せます。

1階航空写真を見ながら、地域の支川を探される方もいらっしゃいました。



3階展望デッキにて。

紀の川大堰や対岸の様子が一望できます。

「わぁ、きれいやね〜」と思わず声がでます。

量水塔の役割等を、実物を見ながら再度説明し理解を深めていただきました。

3. 館外の魚道見学



人口河川式魚道の説明をする職員



魚道観察室。

今日は残念ながら鮎が紀の川を下る場面には出くわしませんでした。

質問

Q1. 紀の川大堰の水は、利用状況はどうなっているのですか？

A1. 水道用水・工業用水・農業用水として利用されています。

Q2. 量水塔の近くにボートがあるのを見たことがありますか、なにをしているの？

A2. 量水塔内の機械の点検をするためにボートに乗っていたのです。量水塔には普段誰もいません。

